

整理番号	27-6	事務事業名	(建築指導事務) 建設リサイクル法に関する事務	作成部署	建設部建築課	電話	内線653	
事務区分	自治事務	法定受託事務		齊藤順二	課長職名	川上雅行	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H14	根拠法令等	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)					
〃終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進するための措置を講ずることにより資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図ることを目的に法が施行されたが、その事務については建築基準法上の(限定)特定行政庁(建築主事を置く市町村や知事)があたる。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	廃棄物とリサイクル	(第4節)
	施策	ごみの減量化とリサイクル	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	建築物等の解体や新築の際に発生する特定された廃棄物	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリートの4品目)の適正な処理により再資源の十分な利用及び廃棄物の減量、及び不法投棄の未然防止を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	法第6条第1項第4号建築物(80㎡以上)の解体処理について審査・指導、その他北海道審査分の受付連達事務 ・発注者からの事前届けの受理、審査指導 ・違反業者等への指導、改善命令等 ・パトロールの実施
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	90	82	51	
	一般財源				
	合計	90	82	51	
人件費(概算)	人数(年間)	0.40	0.07	0.07	
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	
	= ×	3,600	630	630	
総事業費 +		3,690	712	681	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	(届け出件数)			設定できない	
	北広島市審査	29	36		
	北海道審査(受付・申達)	96	83		
	パトロール	1	1		
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	パトロール等の違反発見	0	0	設定できない	
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1件あたり事務コスト	29,520円	5,983円		

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	対象となるものは、リサイクル利用が積極的におこなわれている4品目であり、将来的には鉄・アルミ・ガラス等品目が増えると思われるが、掛かる処理費用等が問題となる。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	建設リサイクル法により、事務の一部を市町村が担うこととなっており、市が実施する。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	ごみの減量化、リサイクルの推進は環境を保全する上で重要。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	法の体系から、解体処理が建築部局で解体材の受け入れ処理が廃棄物処理から保健所と分かれている為、直接的な効果は不明であるが法体系からこのように実施されている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	再資源化とごみの減量化が図られている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事務処理は規定されており、現時点では更に効率的な手法は見当たらない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	建設部所管の発注工事を含み、解体については積極的に分別、再利用を図る。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり、分別・再利用を徹底する。